

第1回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模ホーム あんきな

サービス種類：□グループホーム ■小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護・□認知症対応型通所介護

日 時：令和 7 年 5 月 21 日（水） 9:30~10:30

場 所：會議室

出席者：11名

駐在所巡査長	1人	知見を有する者	1人
利用者家族	2人	大田市職員	2人
地域住民の代表	2人	民生委員	欠席
事業所職員（職名：管理者、GH主任、小規模主任）			3人

報告事項

1. 登録実績と利用状況 (R7.4月現在)

現在登録者数	3月	4月	新規登録者数	3月	4月
男性	3名	4名		2名	2名
女性	17名	17名	登録終了者数	3月	4月
計	20名	21名		1名	0名

※最少年齢 73 歳 最高年齢 98 歳 平均年齢歳 84.9 歳 (4 月)

令和7年度 サービス利用状況：定員25名（令和7年4月）

地域別利用状況 (令和7年4月末)

富山	波根	久手	大田	長久	久利	静間	五十猛
1人	4人	8人	4人	0人	1人	1人	2人

利用者の世帯状況

独居	配偶者(高齢)のみ	子等と同居
8人	9人	4人

2. 活動状況報告

①朝波小学校児童下校時の見守り活動今年度も継続

②外部評価関連報告

A 事業所評価関連

【地域包括ケアを担う活動】

目標：行政やサービス機関との会議、波根地域の活動・イベント等に参加する機会を増やす
→5/11（日）波根駅周辺の草刈り、5/28（水）小規模部会参加予定について報告した。

(波根まちセンより意見)

波根商工振興会で瑞風のおもてなしを行っており、たてがみの郷にも協力をしてもらっている。夕方の時間帯で忙しいと思うが利用者の方にも手を振ってもらいたい。

【質向上の取り組み】

目標：職員の年間研修計画に応じて実施する。

→今年度の研修計画をもとに説明した。

Q：全職員対象の研修回数はどのように考えているのか教えて欲しい。

A：法定研修は全職員が参加している。予算を計上して参加する研修は階層ごとに力向上を図る目的で計画しており、職員の意向を面談や評価で確認して進めている。随時案内のある研修は職員の希望を取って参加できるようにしている。

B 事業所のしつらえ・環境

7月の運営推進会議にて評価をしていただく予定。

C 事業所と地域のかかわり

目標：地域の行事や活動を通じて事業所との関係を深める。その中で相談事やニーズ等を把握する。

→運営推進会議でも地域の相談やニーズがあればお願いしたい。

(大津自治会より)

Q：大田の介護医療院が今年度で閉院となる。行き先が見つからなければ老健利用が出来るのか。また、3ヶ月で退所しなければならないのか。

A：入所期間は必ずしも3ヶ月ではなくケースバイケースである為、老健の相談員に電話や来訪でも良いので気軽に相談できることを伝えた。

D 地域に出向いて本人の暮らす支える取り組み

目標：利用者の個々の馴染みの地域や場所について一覧化し、計画的に地域へ外出する支援を行う。

→習慣であった港への散歩やまちセンでのコーラス活動への参加する支援を行っている状況をスライドや写真で報告した。

特に意見なし

F 災害協力

→年間計画に沿って避難訓練（7月、11月）、災害の種類（洪水、地震）に応じたBCP訓練（6月、10月）予定を報告。前年度の地域との連携が図れなかつた反省があり、今年度は地域の方に興味関心を持っていただくように施設を地域の方の避難場所として提供可能（20名程度）であることを伝え自治会での周知をお願いした。

（波根まちセンより意見）

グラウンドゴルフ場を避難場所としているが、足が悪い方もいるので施設を利用させてもらえることは有難い。中浜自治会は日曜日に防災訓練をしているので、施設の活用や今後の協力について意見を集約して相談に伺いたい。

3. その他

- ・新役員の紹介（小規模主任、家族代表、大津自治会長）
- ・運営推進会議の目的、当該会議での流れの説明

第2回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模ホーム あんきな

サービス種類：□グループホーム ■小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護・□認知症対応型通所介護

日 時：令和7年7月17日（木） 9:30～10:30

場 所：會議室

出席者：8名

駐在所巡査長	1人	知見を有する者	1人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人	民生委員	1人
事業所職員（職名：管理者、GH主任）			2人

報告事項

1. 登録実績と利用状況 (R7.6月現在)

現在登録者数	5月	6月	新規登録者数	5月	6月
男性	4名	5名		0名	1名
女性	16名	15名	登録終了者数	5月	6月
計	20名	20名		1名	3名

※最少年齢 76 歳 最高年齢 98 歳 平均年齢歳 81.9 歳 (6 月)

令和7年度 サービス利用状況：定員25名（令和7年6月現在）

地域別利用状況（令和7年6月現在）

富山	波根	久手	大田	長久	久利	静間	五十猛
1人	4人	8人	4人	0人	1人	0人	2人

利用者の世帯状況（令和7年6月現在）

独居	配偶者（高齢）のみ	子等と同居
8人	9人	3人

2. 活動状況報告

①定員超過報告（定員：泊り6人、通い15人）

6/6（金）泊り1人超過、理由：家族の急用

6/20（金）泊り1人超過、理由：介護者の受診

②毎週木曜日の朝波小学校児童下校時の見守り活動を継続。夏休みの為今週で一時休止

③外部評価関連報告

A 事業所評価関連

【地域包括ケアを担う活動】

目標：行政やサービス機関との会議、波根地域の活動・イベント等に参加する機会を増やす

→6/15（日）三瓶そば早食い大会、6/29（日）波根駅周辺草刈り奉仕活動参加を報告した。

【質向上の取り組み】

目標：職員の年間研修計画に応じて実施する

→（内部研修）

・5/28（水）BCP研修 9名参加

（外部研修）

・6/17（火）ユニ・チャームおむつの当て方研修 2名参加

・6/25（水）、6/26（木）認知症実践者研修 1名参加

・6/5（木）、6/25（水）チーム力向上研修【上級編】 1名参加

（波根まちセン様より質問）

Q：研修を受けた後のフィードバックをどのようにしているのか教えて欲しい。

A：認知症の方が多いので、専門性のある支援がチームで実践できるように復命であったり個別の支援会議で得た知識や技術を活用したり出来るよう努めている。

B 事業所のしつらえ・環境

9月の運営推進会議にて評価をしていただく予定。

C 事業所と地域のかかわり

目標：地域の行事や活動を通じて事業所との関係を深める。その中で相談事やニーズ等を把握する

(民生児童委員より質問)

Q：小規模の活動や訓練などをもっと情報発信してはどうか。

A：ホームページで情報発信している為、地域の方へも伝えてもらいたい。今まで回覧板や広報誌などで情報発信しているが、一方的な発信で地域ニーズが把握できていない現状がある。小さくとも地域の声があれば運営会議の場での情報提供をお願いした。

D 地域に出向いて本人の暮らを支える取り組み

目標：利用者の個々の馴染みの地域や場所について一覧化し、計画的に地域へ外出する支援を行う

→スライドにて波根バラ園への散策やまちセンでのコーラス活動参加への支援を報告した。

E 運営推進会議を活かした取り組み

目標：運営推進会議の目的や会議の内容が推進委員の方に対して理解が深まるように、わかりやすい言葉で伝え取り組みを可視化するなど工夫し相談や協力に繋がる意見を増やす
(大津自治会様より意見)

文章だけでなくスライドの写真で「見える化」してもらえるので表情からも良い支援や活動であることが伝わる。

F 災害協力

目標：災害の規模や種類に応じた災害訓練を計画的に実施する

→7/16（水）夜間の火災発生時に転倒骨折した利用者の避難を想定した訓練を行ったことを報告した。

(波根まちセン様より意見)

マンネリ化しないように努めているのが良いと思う。

→引き続き、地域との災害協力をお願いした。

3. その他

特になし

第3回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模ホーム あんきな

サービス種類：□グループホーム ■小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護 • □認知症対応型通所介護

日 時：令和 7 年 9 月 17 日（水） 9:30~10:30

場 所：會議室

出席者：7名

駐在所巡査長	欠席	知見を有する者	1人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人	民生委員	欠席
事業所職員（職名：管理者、GH主任）			2人

報告事項

1. 登録実績と利用状況 (R7.8月現在)

現在登録者数	7月	8月	新規登録者数	7月	8月
男性	4名	3名		1名	0名
女性	17名	17名	登録終了者数	7月	8月
計	21名	20名		1名	1名

*最少年齢 69 歳 最高年齢 97 歳 平均年齢歳 85.3 歳 (8 月)

令和7年度 サービス利用状況：定員25名（令和7年8月現在）

地域別利用状況 (令和7年8月現在)

富山	波根	久手	大田	長久	久利	静間	五十猛
0人	4人	8人	4人	0人	1人	1人	2人

利用者の世帯状況 (令和7年8月現在)

独居	配偶者(高齢)のみ	子等と同居
8人	8人	4人

2. 活動状況報告

①定員超過報告 (定員:泊り6人、通い15人)

7/11 (金) 泊り1人超過、理由:介護者の入院の為

8/16 (金)・8/17 (土) 泊り1人超過、理由:介護者の自宅療養のため

②行事報告

7/29 (火)～7/30 (水) 納涼祭開催

③外部評価関連報告

A 事業所評価関連

【地域包括ケアを担う活動】

目標: 行政やサービス機関との会議、波根地域の活動・イベント等に参加する機会を増やす
→世界アルツハイマーの展示物作成の協力を行った

夏休み明け9月から朝波小学校児童の下校時見守り活動を再開

【質向上の取り組み】

目標: 職員の年間研修計画に応じて実施する

- ・7/1 (火)、8/19 (火) 眠りスキャン研修 1名参加
- ・7/31 (木)～8/1 (金) 認知症実践者研修 1名参加
- ・7/9 (水)～7/11 (金)、8/8 (金) 認知症実践リーダー研修 1名参加
- ・8/8 (金) ノーリフティング堅守 1名参加

(波根まちセンより質問)

Q: ノーリフティングケアとは何なのか教えて欲しい。

A: 利用者の「持ち上げない・運ばない」を避けることで、介護者の腰痛予防だけでなくケアを受ける側の褥瘡や拘縮も抑制するケア方法であることを説明した。今後は腰痛対策の組織化を図る為に福祉機器などのテクノロジーを積極活用していきたい事も伝えた。

B 事業所のしつらえ・環境

本日外部評価を実施。

D 地域に出向いて本人の暮らす支える取り組み

目標: 利用者の個々の馴染みの地域や場所について一覧化し、計画的に地域へ外出する支援を行う

→墓参り、なじみの美容室、大田市立図書館への外出を行った。

E 運営推進会議を活かした取り組み

目標：運営推進会議の目的や会議の内容が推進委員の方への理解が深まるように、わかりやすい言葉で伝え取り組みを可視化するなど工夫し相談や協力に繋がる意見を増やす
→波根まちセンより Twilight Express 瑞風のおもてなし協力の依頼があり了承した。

※9月からの運行表別添

F 災害協力

目標：災害の規模や種類に応じた災害訓練を計画的に実施する

→11月に日中の避難訓練予定を報告した。また、施設を地域の方の避難場所として提供可能（20名程度）であることをあらためて伝え自治会での周知をお願いした。

(波根まちセンより意見)

足が悪い方の施設利用は有難いので、施設の活用や協力について住民の方にも意見を聴取していきたい。

3. その他

大田市よりコロナ流行拡大に伴い注意喚起のレジメ配布。

次回開催日：令和7年11月19日（水）9:30～10:30